

藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成 29 年度分）に対する事業評価会議結果について

開催日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）午前 10 時～11 時 50 分

開催場所：藤沢商工会議所 2 階会議室

本所経営発達支援計画に基づき、記載の事業（平成 29 年度分）について、地域の状況を把握している外部有識者（5 名）による、事業の検証会議を開催し、実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行った。

事業の評価については、推進状況、成果、満足度等を A（大いに良好）・B（良好）・C（見直し）といったランク付けにより評価を数値化する。

A 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 80%以上の評価

B 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 50%～79%の評価

C 評価・・・事業の実施状況、内容、成果が 49%以下の評価

外部有識者（順不同）

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 慶應藤沢イノベーションビレッジ
- ・神奈川県 かながわ中小企業成長支援ステーション（中小企業支援課 海老名駐在事務所）
- ・藤沢市 経済部産業労働課
- ・日本政策金融公庫横浜支店国民生活事業
- ・神奈川県よろず支援拠点（中小企業診断士）

オブザーバー

独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域振興部支援拠点サポート課

事務局出席者 4 名

経営発達支援計画に対する事業評価結果

次のとおり

藤沢商工会議所経営発達支援計画（平成 29 年度実績分）に対する事業評価結果

1. 地域の経済動向・需要動向に関する情報提供

事業等	評価				
	A	B	A	B	B
(1) 日商 LOBO 調査、景気ウォッチャー調査、雇用動向調査	A	B	A	B	B
(2) 経済動向調査の分析説明会	A	B	B	B	B
(3) 景気動向・需要動向等について調査及び分析、公表	A	A	A	A	A

講評等：概ね達成...

活用事例をHPや会報、セミナーでの紹介や、新聞などのマスコミに取り上げ
てもらうなど、メリットを広く知らせることが必要。

各種調査を広く提供していると思われしますので、調査対象増は大変よい。

地域の拠点として、積極的に情報の発信をしていただきたい。

登録企業の負荷が大きいこともあり、中々大変かと思うが、新たな企業の掘り
起こしも期待したい。

2. 経営分析に関すること

事業等	評価				
	A	B	A	A	A
(1) 経営分析	A	B	A	A	A
(2) 業種別情報交換会	A	A	A	A	A

講評等：概ね達成...

経営分析した企業を計画策定に繋げていく取組みが必要。

目標は十分達している。

連携する専門機関と協力しながら、事業者との対話を深め、強みや弱みを適切
に把握、還元していただきたい。

経営分析の取組みを着実に進めている様子が伺える。

3. 事業計画策定支援に関すること

事業等	評価				
	B	C	B	C	B
(1) 経営計画策定支援セミナー	B	C	B	C	B
(2) 個別専門家相談	A	A	A	A	B
(3) 事業計画策定支援	A	B	B	B	B
(4) 小規模事業者経営発達支援融資	B	C	C	C	C
(5) 経営革新支援	A	A	A	A	A
(6) 創業支援	A	C	A	A	A

講評等：(4)については、実績はないがメニューとして必要であると考えBとした。
 経営革新セミナー受講者をフォローアップし、経営革新計画や経営力向上計画策定に繋げていく取組みが必要。
 経営計画策定支援セミナーの参加者が少ないようであるので、理由の分析を。周知等を効果的に行うことにより、参加事業者数、相談件数を増やしていただきたい。よろず等との共催セミナーや創業セミナーは非常に力が入っていて効果が見込まれるので、今後も続けていただきたい。
 持続化補助金の申請企業数も一段落している中で申請企業の掘り起こしの難しさがあるように思われる。融資制度上の問題もあり、企業に無理に要請できない現状も理解できる。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業等	評価				
	B	C	B	B	C
(1) 事業計画策定後の支援	B	C	B	B	C

講評等：目標未達ではあるが、必要メニューと思料。
 当該年度の持続化補助金だけでなく、過去のマル経融資利用者や経営力向上計画策定企業、経営革新計画承認企業、ものづくり補助金利用企業も対象に加えると良い。
 必要とされているものは十分行っていると思います。
 フォローアップで計画策定後の状況を数多く収集することで、計画策定支援に還元できるようになるので、多忙とは思いますが、担当間で協力しながら対応を続けていただきたい。
 持続化補助金の申請企業数の減少が大きな要因と考えられる。

5. 需要動向調査に関すること

事業等	評価				
	B	C	B	C	C
(1) 需要動向分析	B	C	B	C	C

講評等：例年通りにてB評価とした。
 新聞などマスコミを活用してはどうか。
 セミナーの回数増を望みます。
 G I Sを効果的に活用することで創業者の計画支援の大きな助けとなるので、活用を場を拡げる取組みをお願いしたい。
 G I S、マケプラの活用は非常に良い取組みと思われるが、実際には企業者の負担も大きいので、この負担を軽減する方策も検討したいところである。

8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業等	評価				
(1) 経営革新セミナー・創業セミナーの関係機関との連携・取組	A	A	A	B	A
(2) 企業情報交換会事業の取組	A	A	A	A	A
(3) 厚木基地とのビジネスマッチング事業の取組	A	A	A	A	A
(4) 県下商工会議所との情報交換についての取組	A	A	A	B	A
(5) 日本政策金融公庫等の支援機関との情報交換についての取組	A	B	B	B	A

講評等：概ね達成...

経営革新支援の方法など、指導員レベルでの意見交換会があるとよいと思う。

(5) について、保証協会以外の機関とも連携していると思いますが、定期的に行われることを期待します。

県下の商工会議所と連携、情報交換をしながら、引き続き、経営発達支援事業を推進していただきたい。

支援機関同士の連携の取組みについては、非常に積極的に展開されている様子が伺える。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業等	評価				
(1) 経営指導員の研修内容	A	A	A	B	A
(2) 専門家と経営指導員との支援体制	A	A	A	B	B
(3) 経営指導員の情報共有	A	A	A	B	A
(4) 商圈分析手法、経営計画書策定に関する研修	A	A	B	B	B
(5) 経営指導員の自己研鑽	A	B	B	B	B

講評等：概ね達成...

(5) は資格を得たことによるメリットの明確化を図るとよいと思われる。

(4) の回数増やトピックのものを望みます。(5) は多く利用されるとよいと思います。

多忙の中、研修会等に多く参加していただいております、引き続き、取組みをお願いしたい。

県商工会議所連合会や中小機構などの研修制度を積極的に活用されている。支援能力向上のための自己研鑽制度を設けていることは評価できるが、中々、職員の参加が難しい様である。

10. 経営発達支援計画に基づく全体的な事業評価

評 価				
A	B	A	A	A

講評等：概ね成果は達成されていると考える。湘南創業塾の取組みは非常に良い企画だと考えており、把握しきれない波及効果は大きいと感じている。

一部目標が高すぎて実績が追い付かないものが見られる。次回策定時に見直しが必要。今後、廃業、事業承継が大きな課題となってきているので、次回計画に盛り込む必要があると思われる。

計画に関するものはもれなく行っています。件数の満たないものについての分析・対応を望みます。

取組みにより、多少の達成率の上下はあるが、全体として見れば、適切に推進しており、80%以上の評価は可能と思われる。地域経済の中核として、引き続き、積極的な取組みをお願いしたい。

継続的な取組みを着実に進めており、具体的成果も年々高まっている。地域の特性を生かした地域活性化の取組みは多いに評価できる。